

2025 年度 一般社団法人日本作業行動学会 第 3 回理事会 議事録

日 時：2025 年 5 月 27 日（曜日）18:00 ～19:00 本会議

2025 年 5 月 28 日（曜日）15:00 配信

2025 年 5 月 30 日（曜日）13:00 最終決議

場 所：Zoom を用いた Web 会議。Zoom を用いた会議に出席できなかった理事には、本会議終了後、議案書を篠原事務局長よりメールで配信し、決議した。

参加者：石井良和会長、村田和香副会長、篠原和也事務局長、鎌田樹寛理事、小林法一理事、小林隆司理事、笹田 哲理事、鹿田将隆理事、鈴木憲雄理事、竹原 敦理事、谷村厚子理事、本家寿洋理事、南 征吾理事、岩瀬義昭監事

審議事項：

1. 総会議案について

→ 異議なく承認された。

2. 2024 年度活動報告と決算報告について

→ 異議なく承認された。

3. 機関誌編集委員会より

1) 論文表彰（研究・事例報告）の推薦について

編集委員の投票により以下に決定することが承認された。

【研究論文】

星島彩氏・他 自宅退院する 60 代回復期リハビリテーション病棟入院患者の価値ある作業の認識過程—複線径路等史至性アプローチの分析から— 第 28 巻 第 3 号 p86-95

川端敦史氏・他 地域在住高齢者が ICT 機器操作時に感じる困難感の内容分析 第 28 巻 第 1 号. p28-36

【事例報告】

坂本勇太氏・他 クライアントと家族との信念対立に介入したことで作業適応状態が促進された事例～作業に根ざした実践 2.0 と人間作業モデルを併用して～. 第 28 巻 第 3 号 p107-115

萩原佑香氏・他 余暇活動の楽しさによって「もう一度滑りたい」と自分の意志を伝えた若年性アルツハイマー型認知症者の事例. 第 28 巻 第 3 号 p96-106

2) 活動報告

・2024 年度は 15 論文の新規投稿があり、28 巻 1 号、2 号、3 号、4 号を発刊した。毎号につき機関誌「作業行動研究」を 470 冊発刊した。

3) 活動予定

- ・ 投稿論文の査読、機関誌の発刊、オンライン投稿システムの検討。
 - ・ 「作業行動研究」に掲載となった研究で、科学研究費助成事業の助成を受けて行われた研究は、学会ホームページ上で研究論文を公開することができる。
- 異議なく承認された。

4. 人間作業モデル認定セラピストについて

2025年5月26日に理事会で承認され、第35回総会に認定を受けるのは以下の会員である。

- ・ 吉政豪也氏 (農協共済中伊豆リハビリテーションセンター)
- ・ 木村浩明氏 (石和温泉病院)
- ・ 高橋 啓氏 (東京都リハビリテーション病院)
- ・ 古賀 誠氏 (昭和大学保健医療学部リハビリテーション学科)
- ・ 萩原佑香氏 (訪問看護ステーション向日葵)
- ・ 坂本勇太氏

→ 異議なく承認された。

5. 本年度研究助成について

1) 2024年度の申請者

- ・ なし

2) 公募期間

総会終了後より2月末を公募期間とする。今年度は、6月23日(月曜日)から2月28日(土曜日)とする。

→ 異議なく承認された。

6. 次年度の学術集会

大会長は南 征吾氏とし、兵庫医科大学リハビリテーション学部において現地開催を計画する。

→ 異議なく承認された。

7. 2025年度活動計画と予算について

→ 異議なく承認された。